

令和4年度（2022年度）事業報告【代数解析研究会】

1 活動内容

- (1) 第41回北海道高等学校数学コンテストの計画・運営・実施
- (2) 令和4年度（2022年度）大学入試問題の分析・研究
- (3) 世界各国や日本国内の数学オリンピックや数学コンクール等の問題の収集・研究

2 活動の詳細

- (1) 例会については、これまで札幌市内の学校に集まって実施してきたが、遠隔地の先生も参加できるように、原則としてオンラインでの実施とする。
- (2) 数学コンテストについては、「札幌市内に公開会場を設ける」「表彰式を実施する」を目指す。新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ判断する。
- (3) 大学入試や数学オリンピック等の問題を収集、研究することで、数学コンテストの出題にいかす。
- (4) 代数解析研究会の活動内容を北数教員に広く還元できるように、従来どおり、9月に大学入試研究協議会を開催するとともに、第77回北海道算数数学教育研究大会（空知・岩見沢大会）で研究発表を行う。

3 例会日程（実績）

- (1) 5月28日（土）
- (2) 6月25日（土）：参加者が少ないため流会
- (3) 7月23日（土）
- (4) 8月20日（土）
- (5) 9月24日（土）
- (6) 10月22日（土）
- (7) 11月19日（土）
- (8) 2月11日（土祝）：数学コンテストの集約のため、札幌稲雲高校で実施

※特に記載していないものはオンラインで実施

4 その他の日程（実績）

- (1) 大学入試研究協議会 9月19日（月祝）
- (2) 第41回北海道高等学校数学コンテスト 1月7日（土）
表彰式 3月11日（土）

※表彰式は実施せずに、3月11日（土）、札幌稲雲高校で作業を行い、実施校へ賞状、盾、「採点を終えて」等を発送。

令和4年度 北数教高校部会代数解析研究会決算書

【収入の部】

	R4予算	R4決算	増減	備 考
A 研究活動費	15,000	15,000	0	
B 数学コンテスト運営費	160,000	160,000	0	協賛金 東京書籍10,啓林館・数研・ 情報大学・TANJI各1.5
A 雑収入	0	0	0	講習会参加料徴収せず
合 計	175,000	175,000	0	

【支出の部】

	R4予算	R4決算	増減	備 考
A 研究活動費				
1 研究費	0	0	0	
2 印刷費	0	0	0	
3 謝礼	15,000	15,000	0	講習会講師謝礼として
小 計	15,000	15,000	0	
B 数学コンテスト運営費				
1 印刷費	80,000	94,160	▲ 14,160	問題、解答用紙、採点を終えて
2 通信費	30,000	26,310	3,690	切手、レターパック、ゆうパック等
3 会場費	5,000	0	5,000	表彰式は中止
4 盾代	35,000	39,216	▲ 4,216	盾、賞状
5 謝礼	10,000	6,084	3,916	秋山仁先生(秋山仁賞へのお礼)
6 30周年記念誌積立	0	0	0	
7 予備費	0	0	0	
小 計	160,000	165,770	-5,770	
合 計	175,000	180,770	-5,770	

※研究活動費 収入¥15,000-支出¥15,000=残金¥0

※数学コンテスト運営費 収入¥160,000-支出¥165,770=-¥5,770 を特別会計()から支出する。

令和4年度北数教代数解析研究部会計の決算を上記のように執行しましたので報告します。

令和5年 3 月 27 日

会計担当 木村 尚士

監査の結果、適正に執行されていることを認めます。

令和5年 3 月 30 日

監査

尾崎 大樹

令和5年度（2023年度）事業計画【代数解析研究会】

1 主な活動

- (1) 第42回北海道高等学校数学コンテストの計画・運営・実施
- (2) 令和5年度（2023年度）大学入試問題の分析・研究
- (3) 世界各国や日本国内の数学オリンピックや数学コンクール等の問題の収集・研究

2 事業計画

- (1) 例会については、これまで札幌市内の学校に集まって実施してきたが、遠隔地の先生も参加できるように、原則としてオンラインでの実施とする。
- (2) 数学コンテストについては、コロナ禍以前の「札幌市内に公開会場を設ける」「表彰式を実施する」に戻すことを目指すが、札幌市内で勤務する代数解析研究会会員が少ないので、場所の確保次第である。
- (3) 数学コンテストについては2年連続赤字となっており、今後、協賛金が大幅に減ることも予想されることから、安定して実施するための方策（具体的には、クラウドファンディングで資金を調達するなど）を模索する。
- (4) 大学入試や数学オリンピック等の問題を収集、研究することで、数学コンテストの出題にいかす。
- (5) 代数解析研究会の活動内容を北数教会員に広く還元できるように、従来どおり、9月に第11回大学入試研究協議会を開催するとともに、第78回北海道算数数学教育研究大会（上川・旭川大会）で研究発表を行う。

- ## 3 例会日程（予定）
- | | | |
|-----|-----------|---------|
| (1) | 5月27日(土) | オンライン予定 |
| (2) | 6月24日(土) | オンライン予定 |
| (3) | 7月22日(土) | オンライン予定 |
| (4) | 8月26日(土) | オンライン予定 |
| (5) | 9月23日(土) | オンライン予定 |
| (6) | 10月21日(土) | オンライン予定 |
| (7) | 11月11日(土) | オンライン予定 |
| (8) | 2月10日(土) | 対面予定 |

※時間帯は、14:00～16:00を予定。

※大学入試研究や数学コンテストの進捗状況によっては、実施回数を増やす可能性がある。

4 その他の日程（予定）

- (1) 第11回大学入試研究協議会（オンライン開催） 9月18日(月祝)
講師：Z会講師・テキスト執筆者 石田浩一 氏
- (2) 第42回北海道高等学校数学コンテスト 1月6日(土)
表彰式 3月9日(土)

- ## 5 代数解析研究会運営委員
- | | |
|------|--------------|
| 代表 | 平間 順宏（室蘭東翔） |
| 会 計 | 木村 尚士（恵庭北） |
| | 島田 清稔（札幌稲雲） |
| 運営委員 | 古田 和幸（小樽双葉） |
| | 大和 達也（立命館慶祥） |
| | 佐々木光憲 |

令和5年度 北数教高校部会代数解析研究会予算

【収入の部】

	R4予算	R4決算	R5予算	備 考
A 研究活動費	15,000	15,000	15,000	
B 数学コンテスト運営費	160,000	160,000	160,000	協賛金(5団体を予定)
A 雑収入	0	0	0	
合 計	175,000	175,000	175,000	

【支出の部】

	R4予算	R4決算	R5予算	備 考
A 研究活動費				
1 研究費	0	0	0	
2 印刷費	0	0	5,000	
3 謝礼	15,000	15,000	10,000	講習会講師謝礼
小 計	15,000	15,000	15,000	
B 数学コンテスト運営費				
1 印刷費	80,000	94,160	88,000	問題、解答用紙、採点を終えて
2 通信費	30,000	26,310	30,000	切手、レターパック、ゆうパック等
3 会場費	5,000	0	0	
4 盾代	35,000	39,216	35,000	盾、賞状、プレート
5 謝礼	10,000	6,084	7,000	秋山仁先生(秋山仁賞へのお礼)
6 周年記念事業積立金	0		0	
7 予備費	0		0	
小 計	160,000	165,770	160,000	
合 計	175,000	180,770	175,000	